2026 年 11 月 18 日
丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社
株式会社網屋

AI×OT セキュリティで製造現場を見える化し、対策実行まで伴走する「OT SecurePath」を提供開始

丸紅 I-DIGIO グループ・デジタルソリューションセグメント（セグメント CEO：木村　直喜）の丸紅情報システムズ株式会社（代表取締役社長：佐藤　由浩　以下、MSYS）と、サイバーセキュリティサービスを提供する株式会社網屋（代表取締役社長：石田　晃太　以下、網屋）は、工場・プラントなど OT（Operational Technology）環境向けに、リスクの可視化からロードマップ策定・対策検討支援までを一貫して提供する「OT SecurePath」を提供開始します。

昨今、製造業や社会インフラ分野では、DX やスマートファクトリー化に伴い、OT ネットワークと IT ネットワークの連携が加速しています。一方で、レガシー制御機器や長期運転を前提としたシステムが多く残る OT 環境では、脆弱性の存在やネットワーク構成の把握が不十分なことにより、サイバー攻撃による操業停止・品質低下・安全事故・環境負荷増大などのリスクが高まっています。

従来のセキュリティアセスメントでは、「現状調査」と「リスク特定」までは実施されても、その後の対策検討や予算化、現場での具体的な実装にまで踏み込まれず、調査資料やロードマップが時間の経過とともに形骸化してしまうという課題がありました。OT SecurePath は、MSYS が企画と技術支援を行い、網屋が提供するサイバーセキュリティアドバイザリサービスを組み合わせ、「診断して終わり」にしない継続的な伴走型サービスです。国際規格 IEC 62443-2-1 の一部に基づくヒアリングと、OT ネットワーク可視化センサーによる簡易アセスメントを組み合わせ、6 か月間・最大 5,000 アセットを対象に、下表のプロセスで提供します。

MSYS と網屋は、OT SecurePath の提供を通じて、製造業を中心に OT 環境を有するお客さまに対して、単発の診断にとどまらない「継続的な OT セキュリティ対策プロセス」の定着を支援します。MSYS の OT セキュリティ含む最新のセキュリティソリューションと、網屋の IT アドバイザリサービス運営ノウハウを組み合わせることで、OT 環境の把握と対策ロードマップの策定から具体的な対策検討と実行フェーズへの橋渡しを一貫して支援し、お客さまの安全な DX 推進と事業継続性の向上に貢献します。

製品サイト：https://www.marubeni-idigio.com/product/ot-secure-path/

ヒアリング	IEC 62443-2-1 の 87 項目から実際の運用・対策実装に直結する 38 項目に絞り込んだヒアリングを実施し、OT 環境のガバナンス・リスク管理・運用管理・インシデント対応・監視・教育・継続的改善の状況を確認します。
簡易調査 （OT ネットワーク可視化）	お客さま環境の上位スイッチ／ルータに OT ネットワーク可視化・評価アプライアンスをセンサーとして設置し、約 2 週間トラフィックをパッシブに収集・分析することで、資産一覧、通信関係、脆弱性、異常通信などを可視化します。
定例会	ヒアリング・簡易調査の結果共有、リスクの優先度整理、対策方針協議を定例会形式で実施します。OT 現場・IT 部門・経営層の関係者が同じ情報を共有し、合意形成を進める場にします。
ロードマップ策定	ヒアリング内容に沿った評価結果と、簡易調査結果を踏まえ、優先度・実現可能性・可用性への影響を考慮した簡易ロードマップを作成します。短期・中期・長期の対策を整理し、「どの拠点・どのゾーンから・何を・どの順で実施するか」を明確化します。
対策支援 （アドバイザリ）	ロードマップに沿って、OT 特有の可用性要件や安全性への影響を考慮しながら、ネットワーク分離・DMZ 設計・アクセス制御・監視強化・マルウェア対策・リモート保守ルール整備・インシデント対応プロセス整備などの具体的な対策を提案します。

表：OT SecurePath の実施プロセス

【丸紅 I-DIGIO グループについて】

丸紅 I-DIGIO グループは、丸紅株式会社の ICT 領域における事業会社グループとして、以下の 4 事業セグメントに注力し、商社の強みである幅広い顧客基盤とネットワークを生かした成長戦略を推進しています。

製造ソリューションセグメント：製造業向けソリューション

流通・産業ソリューションセグメント：システム開発およびコンタクトセンターソリューション

デジタルソリューションセグメント：ネットワーク・ストレージ・クラウド・セキュリティ領域のソリューション

アドバンストインテグレーションセグメント：IT 基盤領域の設計・構築・運用

ホームページ: https://www.marubeni-idigio.com/

【株式会社網屋について】

『自動化で、誰もが安全を享受できる社会へ』。網屋は、セキュリティ製品・サービスの企画から販売までをワンストップで手掛ける、日本で数少ないサイバーセキュリティ企業です。AI テクノロジーやクラウドネットワークなどの独自技術による「セキュリティの自動化」を軸に、コンサルティングや構築、運用、教育まで、組織のセキュリティ対策を包括的に支援。すべての人がサイバー攻撃のターゲットとなる時代に、すべての人が高水準のセキュリティを受けられる社会を実現します。

＜お問い合わせ先（プレス関係者窓口）＞
丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社
コーポレートセグメント コーポレート改革推進本部
マーケティング＆コミュニケーション部 広報課
〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 6 番 1 号 住友不動産飯田橋ファーストタワー
電話：03-4243-4040

株式会社網屋
マーケティング部
電話番号：03-6822-9999(代表)
メール：sa-mktg@amiya.co.jp

＜製品に関するお問い合わせ先＞
丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社
デジタルソリューションセグメント
デジタルプラットフォーム事業本部 サイバーレジリエンス営業部
電話：03-4243-4210

株式会社網屋
マーケティング部
電話番号：03-6822-9999(代表)
メール：sa-mktg@amiya.co.jp

*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。